

Mizuho Daily Market Report

2024/6/28

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	160.54	160.76	▲0.05	+1.83
EUR	1.0690	1.0704	+0.0023	+0.0002
AUD	0.6663	0.6647	▲0.0001	▲0.0009
SGD	1.3575	1.3585	+0.0005	+0.0041
CNY	7.2689	7.2688	+0.0022	+0.0084
MYR	4.7193	4.7175	+0.0012	+0.0080
THB	36.91	36.87	+0.05	+0.09
IDR	16403	16398	▲7	▲32
PHP	58.74	58.75	▲0.12	▲0.02
INR	83.50	83.46	▲0.12	▲0.19
VND	25462	25456	▲6	+4

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.286%	▲4.3 bp	+2.7 bp
日本(10年)	1.076%	+4.6 bp	+11.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.448%	▲0.4 bp	+1.7 bp
オーストラリア(5年)	4.167%	+7.0 bp	+22.4 bp
シンガポール(5年)	3.237%	+3.2 bp	+5.6 bp
中国(5年)	1.981%	▲2.5 bp	▲4.1 bp
マレーシア(5年)	3.648%	+0.8 bp	+0.5 bp
タイ(5年)	2.477%	+1.8 bp	▲0.6 bp
インドネシア(5年)	6.993%	+0.0 bp	▲4.3 bp
フィリピン(5年)	6.363%	▲0.6 bp	▲3.5 bp
インド(5年)	7.016%	▲0.1 bp	+1.6 bp
ベトナム(5年)	2.120%	+3.0 bp	+2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,164.06	+0.1%	+0.1%
N225(日本)	39,341.54	▲0.8%	+1.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,902.60	▲0.3%	▲0.9%
ASX(オーストラリア)	4,460.27	▲0.5%	▲1.1%
FTSE(シンガポール)	3,343.35	+0.3%	+1.3%
SSEC(中国)	2,945.85	▲0.9%	▲2.0%
SENSEX(インド)	79,243.18	+0.7%	+2.3%
JKSE(インドネシア)	6,967.95	+0.9%	+2.2%
KLSE(マレーシア)	1,584.94	▲0.4%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	6,390.58	+1.2%	+0.7%
SETI(タイ)	1,309.46	▲0.7%	+0.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,259.09	▲0.2%	▲1.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	291.30	+0.0%	▲1.4%
金	2,327.73	+1.3%	▲1.4%
原油(WTI)	81.74	+1.0%	▲0.5%
銅	9,372.07	▲0.3%	▲3.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	160.00	—	161.50
EUR/USD	1.0590	—	1.0800
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2880
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16500
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は160円台半ばでオープン。仲値近辺にかけてドル買い優勢となり160円台後半まで上昇。38年ぶりの円安水準受け、本邦当局者から相次いだ牽制発言への反応は限定的となるも、実需の売りも入ってかじりじりと水準を押し下げ、一時160円台前半まで下落。その後は方向感の出ない中で、160円台半ばでは上値重く推移し、160円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に小動き。海外時間に複数の米経済指標の発表を控える中、全般的に様子見の展開となった。

海外市場のドル円は160円台半ばでNYオープン。NY朝方には複数の米経済指標が発表され、米第1四半期GDP(確報値)構成項目の個人消費が下方修正された事や、米失業保険継続受給者数が予想を上回った事を受け、米経済減速の思惑からドル売りが優勢となり、160円台前半まで売られる。その後は米金利が低下幅を縮小させた展開を横目に、ドルが買い戻され、160円台後半まで反発。午後ドル高の展開が続き、160円台後半でクロス。

【金利】

米金利は低下。この日発表された米経済指標が全般的に冴えない結果となり米経済鈍化の思惑が強まる中、米金利は全般的に低下。米10年債利回りは前日比▲4.3bpの4.286%でクロスした。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日は米金利の低下を背景に160円台前半まで下押しされる局面も見られたが、同水準では押し目買い意欲も相応にある模様であり結局160円台後半まで反発。本日は月末日のため実需フローを受けて上下する局面には注意したいが、円安トレンド自体は継続しドル円は底堅い推移を予想する。

【本日の予定】

- (日本) 5月 住宅着工件数
- (日本) 5月 失業率 / 有効求人倍率
- (日本) 5月 鉱工業生産(速)
- (日本) 6月 東京CPI
- (アジア) 1Q 中国 経常収支(確)
- (米国) 5月 PCE価格指数
- (米国) 5月 実質個人支出 / 個人所得 / 個人支出
- (米国) 6月 MNIシカゴPMI
- (米国) 6月 カンザシティ連銀サービス業活動
- (米国) 6月 ミシガン大学消費者マインド(確)
- (米国) ハーキン・リッチモンド連銀総裁講演
- (米国) ボウマンFRB理事講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。